

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

### 1. 今後の見通し

予測期間:2009年11月下旬から12月下旬までの旬別  
 対象海域:道東海域、三陸海域、常磐海域  
 対象漁業:さんま棒受網漁業  
 対象魚群:南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量:

(2) 漁場: 漁場は形成されない。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量: 来遊量は減少し、11月下旬は低位水準となる。12月上旬には断続的となり、終漁となる。


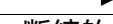
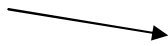
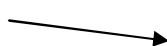
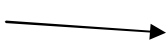
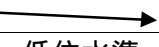
(2) 漁場: 11月下旬は、気仙沼～金華山沖にかけて漁場が形成される。12月上旬は、金華山沖に漁場は残るが、散発的となり終漁となる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量: 来遊量は徐々に減少し、11月下旬～12月上旬は中位水準、12月中旬～下旬は低位水準となる。

(2) 漁場: 11月下旬～12月上旬は、金華山～犬吠埼の広範囲に漁場が形成される。12月中旬には、常磐北部の漁場が消滅し、12月中旬～下旬は小名浜～犬吠埼沖に漁場が残る。

### 2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向				
	漁 場				
三陸海域	来遊量				
	動向	低位減少	断続的		
	漁 場	気仙沼～ 金華山沖	金華山沖		
常磐海域	来遊量				
	動向	中位減少	中位減少	低位減少	低位水準
	漁 場	金華山～ 犬吠埼沖	金華山～ 犬吠埼沖	小名浜～ 犬吠埼沖	小名浜～ 犬吠埼沖

### 3. 漁況の経過概要

(11月上旬)

#### 1) 道東海域

漁場は形成されなかった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、10月下旬と前年を下回り、中位水準となった。日別 CPUE (1網当たりの漁獲量) から判断すると、期後半にかけて徐々に来遊量が減少した。

##### (2) 漁場

三陸海域の主漁場は、釜石～金華山沖であった。

釜石東南東～金華山東沖の15～40海里付近(表面水温15～17)。ほぼ連日、大型船数隻～10隻程度と小型船が10～30隻程度操業。船間差はやや大きく、大型船で10～125トン程度、小型船で数トン～25トン程度漁獲。

##### (3) 魚体

26～29cmモードの中型魚が主体で、30～31cmモードの大型魚が混じる。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、10月下旬と前年を上回り、高位水準であった。日別 CPUE (1網当たりの漁獲量) から判断すると、来遊量は期前半に増加し、期半ばにやや減少したが、後半に再び増加した。

##### (2) 漁場

常磐海域の主漁場は、金華山～犬吠埼沖であった。

金華山東南東30海里～小名浜東30～90海里～那珂湊東20～90海里～鹿島東20～30海里～犬吠埼南東10海里付近(表面水温14～21)。連日大型船が20～45隻程度と小型船数隻～10隻程度操業。日や場所により漁獲量は異なり、5～25トン程度の時もあれば、80～120トン程度漁獲した日もあった。

##### (3) 魚体

26～29cmモードの中型魚と30～32cmモードの大型魚が主体混じる。大型魚の混じり具合は三陸海域より多い。